

MGU Chapel Letter

—第 32 号 2023 年 12 月 5 日— 発行：大学宗教センター

* 2023 年度聖句 *

「あなたがたの内に働いて、御心のままに望ませ、
行わせておられるのは神であるからです。」

フィリピの信徒への手紙 2 章 13 節



12 月・1 月の大学礼拝スケジュール

【12 時 10 分～12 時 30 分 礼拝堂にて】

12 月・1 月の礼拝日程（説教者の氏名 ※敬称略）

- ・ 12 月 1 日（金） 清水 禎文（教育学部教授）
- ・ 12 月 4 日（月） 加藤 秀久（日本基督教団 仙台南伝道所牧師）
- ・ 12 月 6 日（水） 中本 純（日本基督教団 仙台東六番丁教会牧師）
- ・ 12 月 8 日（金） 松本 周（一般教育部准教授）
- ・ 12 月 11 日（月） 瀬谷 寛（日本基督教団 仙台東一番丁教会牧師）
- ・ 1 月 10 日（水） 松本 周（一般教育部准教授）
- ・ 1 月 15 日（月） 佐々木 哲夫（学院長・宗教総主事）
- ・ 1 月 17 日（水） 風間 義信（日本キリスト改革派仙台教会牧師）
- ・ 1 月 19 日（金） 栗原 健（大学宗教センター長）

大学クリスマス礼拝（12 月 7 日）・公開クリスマス礼拝（12 月 19 日）も予定されています。次ページをご覧ください。

【連絡先】 宮城学院キリスト教センター

TEL：022-279-9558

Email：christ-c@mgu.ac.jp

✦ クリスマス礼拝のスケジュール ✦

今年も、主イエス・キリストの誕生をご一緒にお祝いしましょう。ぜひクリスマス礼拝にご参加下さい。



☆ 大学・大学院クリスマス礼拝（礼拝堂）

日 時： 12月7日（木）16時20分～17時50分

メッセージ： 川島堅二先生（東北学院大学文学部教授）

奏 楽： 戸田彩子先生（オルガニスト）

賛 美： 大学音楽科・大学ハンドベルクワイア

☆ 公開クリスマス礼拝（礼拝堂）

日 時： 12月19日（火）：16時30分～17時45分

メッセージ： 大久保直樹先生（中高宗教主事）

奏 楽： 小野なおみ先生（オルガニスト）

賛 美： 大学音楽科



✦ クリスマスを祝う音楽会 ✦

12月9日（土）13時～17時に、「クリスマスを祝う音楽会」がキャンパス内で開催されます。礼拝堂では、15時から16時にかけて「宮城学院クリスマスチャペルコンサート クリスマスの喜び ～コントラバスの響きとともに～」、16時30分から17時にかけて「大学聖歌隊によるミニコンサートとエピローグ」が開催される予定です。ぜひいらして下さい。プログラムの詳細は https://www.mgu.ac.jp/event_christmas231209/ で見るすることができます。

✦ クイズ（答えは3ページ下）

クリスマスツリーの上には通常、大きな星の飾りが取り付けられていますね。この星を「〇〇〇の星」と言います。〇〇〇に入るのは？

エルサレム

ダビデ

ベツレヘム

エデン

✦ 「きよしこの夜」の陰に ✦



今年もクリスマスのシーズンが近づいて来ました。礼拝堂のベルタワーのベルも、17 時になると「きよしこの夜」のメロディを奏でています。

数あるクリスマスの讃美歌の中でも、「きよしこの夜」ほど愛唱されている曲は無いでしょう。歌が生まれたのは 1818 年。オーストリア・オーベルンドルフ村の教会の司祭だったヨーゼフ・モールが書いた詩に、教会で聖歌隊を指導していたフランツ・クサーヴァー・グルーバーが音楽をつけたもので、最初はギターのリズムと共に歌われたと伝えられています。至ってシンプルな旋律であるにもかかわらず、この歌には、心の荒波を静めて平安を与える不思議な力がありますね。ベツレヘムの暗闇の中でひそやかに起きていた、救い主イエス誕生のシーンを思い起こすのに、これほどふさわしい音楽は無いでしょう。

こんなに安らぎに満ちた歌が書かれたのは、さぞかし平和な時代だったのだろう…と思えそうですが、実は違います。この曲が生まれたのは、ナポレオン戦争とその後の余波でヨーロッパ中が揺れている時でした。オーベルンドルフがある地域も戦禍に見舞われ、終戦後も人々は飢饉や社会混乱で苦しんでいました。

「そんな中で、よくこんなにあたたかい曲が書けたなあ」と驚かされますが、こうした例は他にもあります。讃美歌 21 に収録されているドイツの讃美歌の中には、悲慘を極めた 30 年戦争（1618 年～1648 年）のさ中に作られたものがいくつかあります。まるで、苦しみが無駄なものを削ぎ落として、人の心の一番奥にある思いだけを浮き上がらせたような感じです。インドの詩人タゴールは、「信じるとは まだ夜明け前の暗い時間に 光を感じて歌う鳥のこと」と言いましたが、これらの歌は、まさにそうした鳥の声のような美しさがあります。

クリスマスを控えたこの時期にあっても、ウクライナでは戦争が続き、ガザ地区における戦闘は多くの犠牲者を出しています。朝日の影すら見えぬように思えますが、タゴールの鳥のように、私たちも希望をもって主イエスの降誕の季節を祝いしたいと思います。「希望は私たちを欺くことはありません。… 聖霊によって、神の愛がわたしたちの心に注がれているからです。」（ローマの信徒への手紙 5 章 5 節）（栗）



クイズの答え： ベツレヘム イエス誕生の際、彼がいたベツレヘムの上で星が輝いていたという聖書の記述（マタイによる福音書 2 章）から。